

制定	年 月 日	アッデン技術標準	分類	
実施	年 月 日	33-507-01 調整仕様(41XT)	番号	

1. VCOの調整

- (1) 周波数設定SWを2, 0にセットする
- (2) TP1にDC電圧計を接続する。
- (3) DC電圧計の指示が、1.0VになるようにVC101 (VCOのトリマー) を調整する。
- (4) 周波数設定SWを0, 8にセットし、DC電圧計の指示が2.4Vになっていることを確認する。

2. 送信出力の調整 (周波数設定SWを5, 5にセットする。アンテナは未接続)

- (1) スペアナをCN1に接続する。
- (2) VC2をスプリアスが最小になり、キャリアが最大になるように調整する。
- (3) パワー計をCN1に接続する。
- (4) パワー計の指示が、30mWになるようにVR2を調整する。

3. 送信周波数の調整

- (1) 周波数設定SWを5, 5にセットする。
- (2) 周波数カウンターをCN1に接続する。
- (3) 周波数カウンターの指示が、800.000MHz $\pm$ 2kHzになるようにVC1を調整する。

4. トーン変調度の調整

- (1) 直線検波器をCN1に接続する。
- (2) 変調度が2.0kHz $\pm$ 0.2kHzになるようにVR1を調整する。

5. AF変調度の調整

- (1) オシレーターの出力をマイク端子に接続する
- (2) オシレーターの出力を-22dBs (周波数は1kHz) に設定する
- (3) 変調度が50kHz $\pm$ 0.5kHzになるようにVR201を調整する

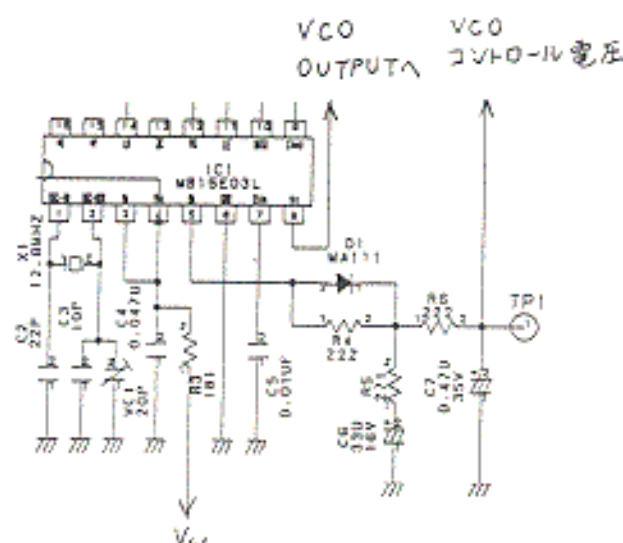
改定記事	.	.					
	.	.					
	.	.	AZDEN CORPORATION				
	.	.	FCC ID: BZB41XT				
	.	.	EXHIBIT #: 9A				
配布先			検印		検印		作成 大野 '99.1.23

33-507 (41XT)

回路主要部説明

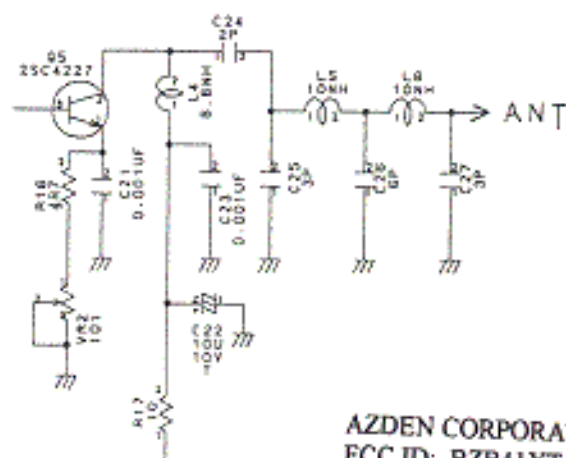
(1) 周波数の安定化

発振方式はシンセサイザ方式であり、シンセサイザの周波数安定度は、水晶振動子の性能で決まり、本機では -10°C から $+60^{\circ}\text{C}$ にて、周波数偏差 ± 10 ppm以内（メーカー規格値）の性能を持つ、東京電波K.K.製の水晶振動子を使用しています。



(2) スプリアスの輻射抑圧

スプリアスの輻射抑圧の為に、電力増幅の後にL-C構成のフィルタを挿入しています。下記の様なπ型2段構成のローパスフィルタとなっています。

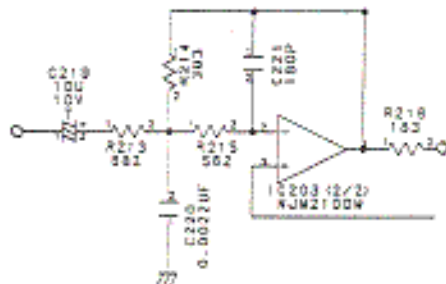


AZDEN CORPORATION
FCC ID: BZB41XT
EXHIBIT #: 9B

< 2 / 2 >

(3) 変調の制限

A F 部に O P . A M P (I C 2 0 3 < 2 / 2 > N J M 2 1 0 0 M) を使用して、O P . A M P の飽和特性を利用して変調の制限をしている。



AZDEN CORPORATION

FCC ID: BZB41XT

EXHIBIT #: 9C